

第100回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当	座	預	金	当	座	売	掛	金
仮	払	金	仮	受	金	未	収	入	金	消
備		品	建		物	買	掛	金	未	払
所	得	税	預	り	金	当	座	借	越	
給		料	租	税	公	課	支	払	運	賃
旅	費	交	通	費	売		上	繰	越	商
								品	現	金
									過	不
									足	

1. 三村商店に対して掛けで販売した商品のうち、一部に破損があったため、¥ 20,000 の値引を承諾した。
2. 小田切商店は、取引先から商品 ¥ 100,000 を仕入れ、代金は小切手を振り出して支払った。なお、取引銀行と当座借越契約（借越限度額 ¥ 200,000）を結んでおり、現在の当座預金残高は ¥ 30,000 であった。ただし、当座取引は当座勘定のみで処理している。
3. 所得税の源泉徴収額 ¥ 50,000 を税務署に現金で納付した。
4. 従業員の出張にあたって、旅費として概算額 ¥ 100,000 を現金で渡した。
5. 1 台当たり ¥ 100,000 の事務用パソコンを 8 台購入し、代金のうち ¥ 200,000 は現金で支払い、残額は来月末に支払うことにした。その際、引取運賃 ¥ 30,000 を現金で支払った。